

平成 22 年 7 月 13 日

各 位

会 社 名 ミクロン精密株式会社
 代表者名 代表取締役社長 榑原 憲二
 (J A S D A Q ・ コード 6159)
 問合せ先
 役職・氏名 管理部次長 遠藤 正明
 電 話 (023) - 688 - 8111 (代表)

平成 22 年 11 月期第 2 四半期累計期間業績予想値との差異に関するお知らせ

平成22年1月14日に公表いたしました平成22年11月期(平成21年12月1日～平成22年11月30日)第2四半期累計期間業績予想について、下記の通り差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 連結 平成22年11月期 第2四半期連結累計期間 連結業績予想と実績との差異
 (平成21年12月1日～平成22年5月31日)
 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	1,001	△107	△31	△32	△14円20銭
今回修正 (B)	663	△152	△30	△26	△11円62銭
増減額 (B - A)	△337	△45	1	5	2円58銭
増減率	△33.7%	—	—	—	—
[ご参考] 前期第2四半期実績 (平成21年11月期第2四半期)	1,789	203	263	156	65円68銭

2. 差異の理由

売上高につきましては、製品の売上計上基準を検収基準としていることに伴い、顧客の検収条件の一部が未達成であることから、売上が第3四半期連結累計期間以降に繰越となる案件が見込まれること等により、前回予想を3億37百万円下回り6億63百万円となる見込みであります。

営業利益につきましては、主に前述の売上高の減少により、前回予想を45百万円下回り1億52百万円の損失となる見込みであります。

経常利益につきましては、前述の営業損失の増加があるものの、補助金収入等により、前回予想を1百万円上回り30百万円の損失となる見込みであります。

また、四半期純利益につきましては、前述の経常損失の減少や、固定資産売却益の計上等により、前回予想を5百万円上回り26百万円の損失となる見込みであります。

なお、通期業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間から繰越となる案件に加え、追加受注による売上を見込んでいることから、前回公表から変更はありません。

3. 個別 平成22年11月期 第2四半期累計期間 前期実績との差異

(平成21年12月1日～平成22年5月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期利益
前期実績(平成21年5月期)(A)	1,728	239	295	184	77円36銭
今期予想(B)	631	△123	2	6	2円70銭
増減額(B-A)	△1,096	△362	△293	△177	△74円66銭
増減率	△63.5%	—	△99.2%	△96.6%	△96.5%

(差異の理由)

売上高につきましては、主需要先である自動車関連業界をはじめとした、経済状況の急変に伴う設備投資の抑制による受注の減少傾向により、前期実績を10億96百万円下回り6億31百万円となる見込みであります。

営業利益につきましては、主に前述の売上高の減少により、前期実績を3億62百万円下回り1億23百万円の損失となる見込みであります。

経常利益につきましては、前述の営業損失の増加があるものの、補助金収入等により、前期実績を2億93百万円下回り2百万円となる見込みであります。

また、四半期純利益につきましては、前期に計上しました投資有価証券評価損を、今期は計上しないこと等から前期実績を1億77百万円下回り6百万円となる見込みであります。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上